

琵琶湖博物館研究発表会

～ふるさとのみず辺について、ともに考えましょう～

テーマ

水辺移行帯

～生き物と人びとの暮らし～

日時：平成16年11月27日（土）

午後1時～午後5時

場所：新旭里山体験交流館「もりっこ」（新旭町日爪）

発表者および発表内容

あいさつ：高橋啓一（琵琶湖博物館研究部長）

(1)宮本真二：琵琶湖の水辺移行帯の変遷と人間活動
- 過去と現在をつなぐ視点 -

(2)前畑政善：魚はなぜ水田に入ってくるのか？

(3)Mark J.Grygier：水田の大型鰓脚類

(4)中島経夫：水路の魚たち

(5)嘉田由紀子：人びとの暮らしと水

琵琶湖周辺の水辺移行帯（陸域と湖域の境界で帯状の広がりを持った領域）は、かつて多くの人々と生き物が互いに関わりあいを持つ豊かで多様な場所でした。しかし現在では湖岸道路の整備、内湖の干拓・埋め立てなど湖辺の土地利用の変化によって多くの水生動物が姿を消しつつあり、また時代とともに人と水辺の生き物との関係も薄れつつあります。

この発表会では、琵琶湖博物館学芸員が水辺で暮らす人々や生き物たちの様子について、これまで研究してきた成果の一端を発表します。ふるさとの水辺について一緒に考えてみませんか。ぜひお申し込みください。

料金 / 無料

対象 / どなたでも受講できます（ただし中学生以上）

定員 / 80名

締切 / 平成16年11月17日（水）まで（必着）

申込方法 / 電話・ハガキ・FAX・E-mailでお申し込みください。

申込・お問い合わせ先 / 滋賀県湖西地域振興局 地域振興課

〒520-1621 滋賀県高島郡今津町今津1758

TEL. 0740-22-6015

FAX. 0740-22-6070

E-mail. S237892@pref.shiga.jp

交通のご案内
新旭町は一とバス
西環状線バス停「日爪」より徒歩約5分



主催 / 滋賀県湖西地域振興局、琵琶湖博物館